

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成28年5月12日(2016.5.12)

【公開番号】特開2013-216653(P2013-216653A)
 【公開日】平成25年10月24日(2013.10.24)
 【年通号数】公開・登録公報2013-058
 【出願番号】特願2013-64103(P2013-64103)
 【国際特許分類】

C 0 7 D 519/00 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

【F I】

C 0 7 D 519/00 C S P

C 0 9 K 3/00 1 0 3 M

C 0 9 D 11/00

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月22日(2016.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

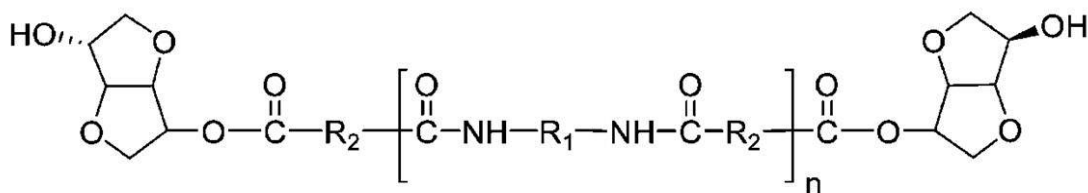
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の式のアミドゲル化剤化合物

【化1】



であって、

式中、 n は1～10であり、

R_1 が、

(i) 炭素原子を1～12個含む置換または非置換のアルキレン基、

(ii) 炭素原子を1～15個含む置換または非置換のアリーレン基、

(iii) 炭素原子を6～32個含む置換または非置換のアリールアルキレン基、および

(iv) 炭素原子を5～32個含む置換または非置換のアルキルアリーレン基からなる群から選択され、

R_2 が、

(i) 炭素原子を1～54個含む置換または非置換のアルキレン基、

(ii) 炭素原子を5～15個含む置換または非置換のアリーレン基、

(iii) 炭素原子を6～32個含む置換または非置換のアリールアルキレン基、および

び

(iv) 炭素原子を 6 ~ 32 個含む置換または非置換のアルキルアリーレン基からなる群から選択される、アミドゲル化剤化合物。

【請求項 2】

R_1 または R_2 の前記アルキレン基は、直鎖および分枝鎖、飽和および不飽和、環状および非環状を含む二価の脂肪族基またはアルキル基であり、前記アルキレン基は、酸素、窒素、硫黄、ケイ素、リンおよびホウ素からなる群から選択されるヘテロ原子を含んでいてもよい、請求項 1 に記載のアミドゲル化剤化合物。

【請求項 3】

R_1 または R_2 の置換アルキレン基、置換アリーレン基、置換アリールアルキレン基および置換アルキルアリーレン基の置換基は、ハロゲン原子、シアノ基、ピリジン基、ピリジニウム基、エーテル基、アルデヒド基、ケトン基、エステル基、アミド基、カルボニル基、チオカルボニル基、ホスフィン基、ホスホニウム基、ホスフェート基、ニトリル基、メルカプトスルフィド基、ニトロ基、ニトロソ基、アシル基、酸無水物基、アジド基、アゾ基、シアネート基、ウレタン基および尿素からなる群から選択される、請求項 1 に記載のアミドゲル化剤化合物。

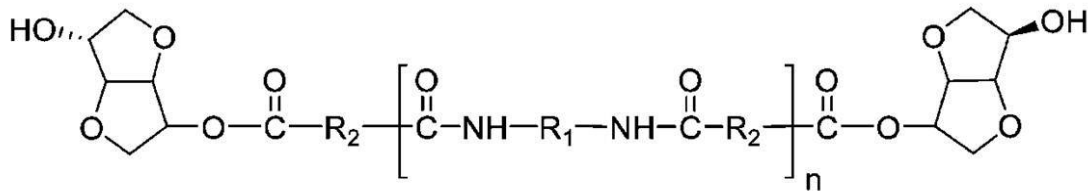
【請求項 4】

R_1 が、炭素原子を 1 ~ 5 個含む置換または非置換のアルキレン基である、請求項 1 に記載のアミドゲル化剤化合物。

【請求項 5】

以下の式のアミドゲル化剤化合物

【化 2】



であって、

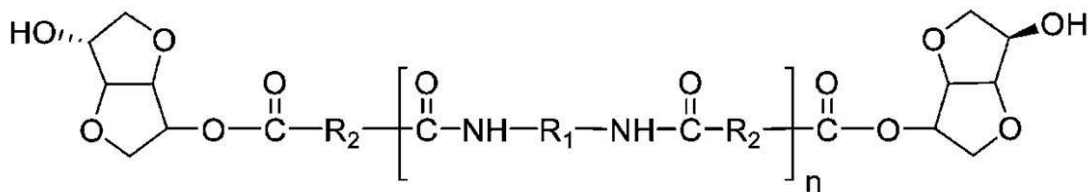
式中、 n は 1 ~ 10 であり、

R_1 は炭素原子を 5 ~ 8 個含む置換または非置換のアリーレン基であり、 R_2 は炭素原子を 5 ~ 15 個含む置換または非置換のアリーレン基であり、 R_1 または R_2 の前記アリーレン基は、二価の芳香族基またはアリール基である、アミドゲル化剤化合物。

【請求項 6】

以下の式のアミドゲル化剤化合物

【化 3】



であって、

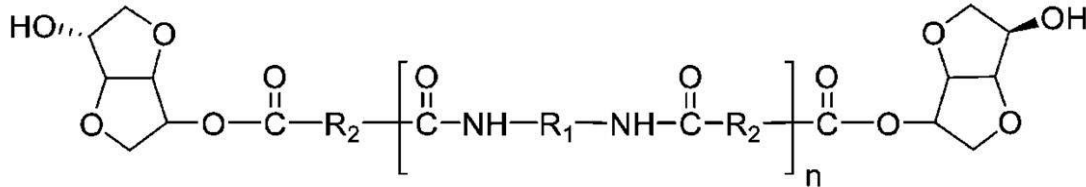
式中、 n は 0 ~ 10 であり、

R₁またはR₂は炭素原子を6～32個含む置換または非置換のアリールアルキレン基であり、R₁またはR₂の前記アリールアルキレン基は、二価のアリールアルキレン基であり、前記アリールアルキレン基のアルキル部分は、直鎖または分枝鎖、飽和または不飽和、環状または非環状であり、前記アリールアルキレン基のアリール部分またはアルキル部分のいずれかのアルキレン基は、酸素、窒素、硫黄、ケイ素、リンおよびホウ素からなる群から選択されるヘテロ原子を含んでいてもよい、アミドゲル化剤化合物。

【請求項7】

以下の式のアミドゲル化剤化合物

【化4】



であって、

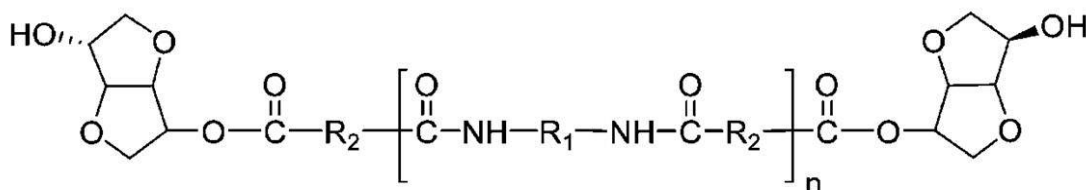
式中、nは0～10であり、

R₁は炭素原子を6～32個含む置換または非置換のアルキルアリーレン基であり、R₂は炭素原子を6～32個含む置換または非置換のアルキルアリーレン基であり、R₁またはR₂の前記アルキルアリーレン基は、二価のアルキルアリーレン基であり、前記アルキルアリーレン基のアルキル部分は、直鎖または分枝鎖、飽和または不飽和、環状または非環状であり、前記アルキルアリーレン基のアリール部分またはアルキル部分のいずれかのアルキルアリーレン基は、酸素、窒素、硫黄、ケイ素、リンおよびホウ素からなる群から選択されるヘテロ原子を含んでいてもよい、アミドゲル化剤化合物。

【請求項8】

以下の式のアミドゲル化剤化合物

【化5】



であって、

式中、nは1～10であり、

R₁が、

(i)炭素原子を1～12個含む置換または非置換のアルキレン基、

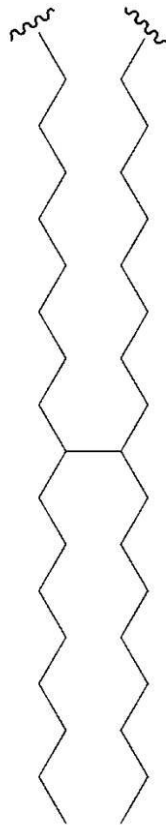
(ii)炭素原子を1～15個含む置換または非置換のアリーレン基、

(iii)炭素原子を6～32個含む置換または非置換のアリールアルキレン基、および

(iv)炭素原子を5～32個含む置換または非置換のアルキルアリーレン基からなる群から選択され、

R₂が、

【化 6】

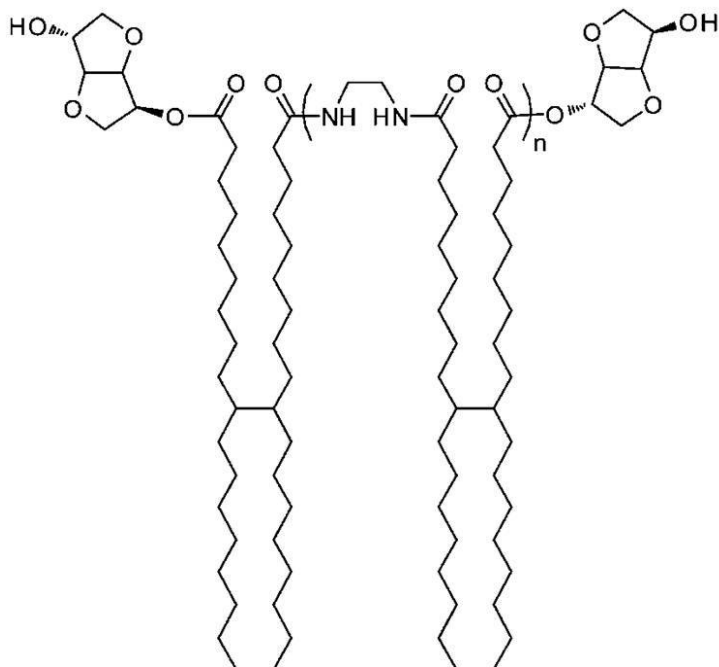


である、 アミドゲル化剤化合物。

【請求項 9】

n が 0 ~ 10 である、以下の式のアミドゲル化剤化合物。

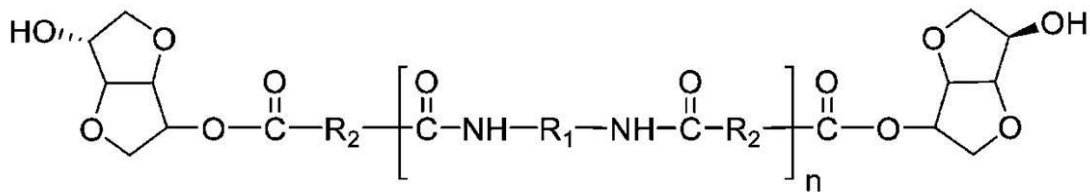
【化 7】



【請求項 10】

以下の式のアミドゲル化剤化合物

【化 8】



であって、

式中、 n は 1 ~ 10 であり、

R_1 が、炭素原子を 1 ~ 12 個含む置換または非置換のアルキレン基であり、

R_2 が、炭素原子を 1 ~ 54 個含む置換または非置換のアルキレン基である、アミドゲル化剤化合物。

【請求項 11】

R_1 が、炭素原子を 1 ~ 5 個含む置換または非置換のアルキレン基である、請求項 10 に記載のアミドゲル化剤化合物。

【請求項 12】

R_2 が、炭素原子を 1 ~ 36 個含む置換または非置換のアルキレン基である、請求項 10 に記載のアミドゲル化剤化合物。